



磐田市立豊田北部小学校

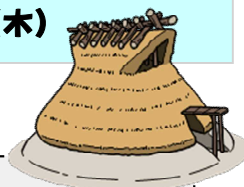


出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年7月6日(木)



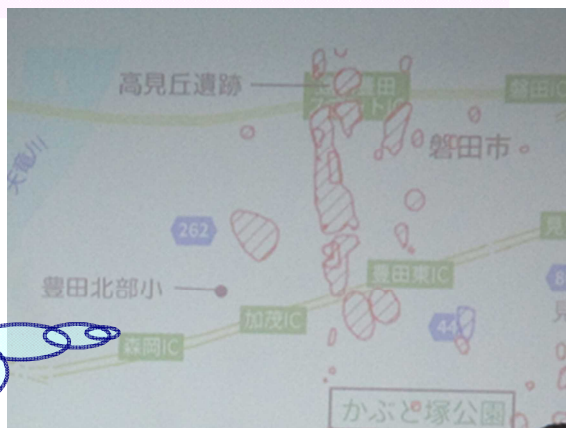
「子どもたちは、実際に体験できて、
学習したことがより身についたと思います。」

磐田市立豊田北部小学校の6年生75人が、社会科歴史体験学習で、実際に体験し、より知見を深める目的で、発掘調査と周辺遺跡の話、石器の試し切り、火起こしの3つの体験を行いました。

発掘調査と 周辺遺跡の話

埋蔵文化財センターの業務内容と豊田北部小学校周辺の遺跡について話しました。発掘調査の仕方を初めて聞いて、興味をもつ子もいました。また、磐田市には大きな古墳がたくさんあることを知り、驚いていました。

「東海地方で1番大きな古墳(円墳)が、磐田にあることに驚いた。私も発掘してみたい。」



石器の試し切り体験



実際に発掘された本物の打製石器や磨製石器を目の前にして、とても驚き、目を輝かせて見ていました。黒曜石で野菜を切る前は、それほど切れないんじゃないかと思っていたようですが、切れ味が鋭くてびっくりしてました。

「思ったより簡単に切れた。」



火起こし体験



もみぎり法、弓ぎり法、舞ぎり法等の火起こしの方法を簡単に説明しました。火起こしが初めてという子が多く、なかなか上手くいきません。弾み車を調子よく回すことができ、火種はできましたが、フーフータイムは難しかったようでした。それでも、頑張って何とか火を起こすことができました。火がついたときは、うれしそうでした。

「力が必要だとわかった。難しかった。」

「大変だったけど、火がついてうれしかった。」



先生方の感想

「小学校での授業に合わせて体験させていただきました。子どもたちは、実際に体験できて、学習したことがより身についたと思います。センターの皆さんは、児童向けに丁寧に説明していただき、とてもわかりやすかったです。」

